

きんもくせい

平成28年3月16日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 土屋 直子
(沼津市立第四中学校)



研究会の歴史を次世代へ

静岡県養護教諭研究会会長 土屋 直子

先日、保健室に聞こえてきたのは春を告げるウグイスのさえずりでした。ぽかぽか陽気に誘われて、ロずさんなのでしょう。四季の移り変わりを実感できた一時でした。

今年度は研究会にとって素晴らしい進化が見られた年でした。

昨年12月に実施された冬季研修会において、講師の静岡大学准教授の鎌塚優子先生から「静岡大学教育学部養護教育専攻の設立」決定の報告をいただくというサプライズに、会場から大きな拍手が沸きました。多くの会員がこの歴史的瞬間に立ち会うことができたのが、ついこの前のような気がします。静岡県の養護教育界において、養護教諭の「養成・採用・研修」の流れができた瞬間でもありました。

静岡大学には50年程前に養護教諭の臨時養成所がありました。その卒業された諸先輩方が研究会をリードし、再び静岡大学に養護教諭養成を設立すべく要請に御尽力いただきました。いろいろな場面で、多くの方々の御支援と御協力をいただいて実現できましたことに感謝申し上げます。

さて、今期の研究会は「養護教諭の職務を再構築しようー実践力の向上をめざしてー」をテーマに運営を進めてまいりました。各種委員会では「発信・啓発活動」をキーワードに、研修を重ねてきました。今年度は「養護教諭実践事例集14ー保健室からの情報発信ー」を刊行しました。実践力の向上のために活用できる一冊となりました。また、「会誌たちばな」では、組織を活性化するために必要なマネジメント力をつけるためにおさえておくべきことを研修し、掲載しました。ホームページには、種々の研修会の案内を発信しました。「会報きんもくせい」は、校内で回覧していただくことで、私たちの思いを伝えてきました。このように、あらゆる場面を通じて発信することで私たち研究会の活動を伝える努力をしてきました。

今後も本研究会が次世代に繋がり、ますます発展していくことを切に願う次第です。

静岡大学養護教諭養成設立を祝う会

平成28年2月14日(日)にホテル中島屋において、「静岡大学養護教諭養成設立を祝う会」を、県養護教諭研究会と高等学校養護教育研究会の共催で開催しました。県教育委員会の木苗直秀教育長様を始め、多くの来賓の方々の御臨席を賜り、総勢126名の参加者による盛大な祝う会となりました。

会の中では、県養護教諭研究会の歴代会長や、設立に御尽力いただいた功労者の方々から、養護教諭の歴史を含め、養護教諭養成設立までの歩みをお話していただきました。多くの方々の長年の御尽力のおかげで養成専攻が設立されたことに深く感謝するとともに、静岡県の養護教諭として、設立の喜びを分かち合えたことに感動しました。

残念ながら所用により御臨席を賜ることができなかった「養護教諭のための災害対策・支援ハンドブック」で御指導いただいた静岡大学の小林朋子准教授からのメッセージを紹介します。

養成課程設立おめでとうございます！多くの養護教諭の先生方が、誠実に、そして丁寧に、子供たちのために行ってきた様々な活動がこうして実を結び、本当に嬉しく思っております。本日は家庭の事情で一緒にお祝いすることができず残念ですが、これからも先生方と一緒に静岡の子供たちを支える活動をしていきたいと思っております。研究会、そして先生方のますますの御活躍と御発展を祈念しております。

役員からお礼のメッセージ

皆様の御支援のおかげで無事に終えることができました。
役員一同、心より感謝申し上げます。



- ☆ 実践事例集 14 では、編集委員や会員の皆様に多大なお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。ますます養護教諭という仕事が好きになりました。静岡県の養護教諭で本当に良かったです。貴重な経験と学び、出会いを今後に生かしていきます。ありがとうございました。【副会長 岡村めぐみ】
- ☆ 2年間調査研究委員会の担当をさせていただき、歴史の重み、要請の実現、未来への展望を感じ取ることができました。また、関係諸機関からの御指導、御助言や会員の皆様からの温かな御意見をいただき感謝しております。ありがとうございました。【副会長 山崎永子】
- ☆ 会誌「たちばな」に執筆してくださった方々、理事の先生方、その他の多くの方々に支えられ、任務を終了することができました。ありがとうございました。素敵な方々に出会い、多くの事を学ぶことができた2年間でした。【副会長 青木規子】
- ☆ ホームページをとおして、静岡県養護教諭研究会の活動内容を発信するという仕事をさせていただきました。改めて研究会の組織や研修内容が素晴らしいものであることを実感しました。2年間ありがとうございました。【副会長 足立郁代】
- ☆ 幹事としての貴重な経験をさせていただき、全てが私の唯一無二の財産となりました。役員と調査研究委員の皆様や会員の方々に支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。【幹事 渡邊由佳】
- ☆ 実践事例集編集に関わらせていただき、統計学を始め、多くのことを学ぶことができました。バイタリティーに富んだ先生方との出会いは刺激的で、私にとって宝物となりました。本当にありがとうございました。【幹事 知覧典子】
- ☆ 「たちばな」の編集に携わらせていただき、地に足のついた実践はもちろん、電話やメールでのやりとりの中で先生方のお人柄に触れることができ、県内の養護教諭のパワーを肌で感じる2年でした。この出会いに感謝します。【幹事 油井千代美】
- ☆ ホームページの担当を始め、幹事として研究会の仕事に携わらせていただいた2年間。県内の素敵な先生方との出会いがあり、多くの事を学び、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。【幹事 山村恵美子】
- ☆ 歴代役員の方々が築き上げたものの偉大さと、責任の重さを感じながら幹事の役に携わってきました。2年間で学んだことと、役員の方々とのつながりは私の財産になりました。会員の皆様の御協力に感謝しております。【幹事 鈴木章代】
- ☆ 2年間の活動をとおして、先輩方の情熱や歴代役員の方々の御苦勞を垣間見る思いがしました。温かい言葉をかけてくださり、協力をしていただいた皆様に感謝申し上げます。【幹事 浅野慶子】
- ☆ 事務局の仕事をとおして県内の養護教諭の先生方を始め、多くの方々と出会いました。人脈だけでなく、自分自身の視野も広がったと感じています。この2年間の経験は人生の宝になりました。ありがとうございました。【事務局 竹内美保】
- ☆ この仕事をしていて事例集を読んだ他県の先生方から「素晴らしい」というお声を何度もいただきました。研究会の質の高さを実感し、大変勉強になった2年間でした。ありがとうございました。【会計 鈴木由里子】
- ☆ 県内には力のある魅力的な養護教諭の先生方がたくさんいることを実感しています。素敵な出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。2年間ありがとうございました。【書記 中村 綾】
- ☆ 会報「きんもくせい」の編集や調査研究に関わらせていただきました。長年積み重ねられた実績の重みと、静岡県の養護教諭のすばらしさを実感した貴重な2年間でした。ありがとうございました。【書記 森嶋晃子】
- ☆ 「のりしろのある組織」だと感じた1年目。あれから6年。県内の養護教諭が集い、情報の交流や実践の共有を図ることは、一人職にとって大きな財産だと感じています。研究会を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。【顧問 柳生美由紀】